

2010年度 経営学部・情報理工学部（A方式）

2010年2月9日実施

解 答	1 (C)	2 (B)	3 (C)	4 (C)	5 (C)	6 (B)
	7 (C)	8 (A)	9 (D)	10 (D)	11 (B)	12 (A)
	13 (D)	14 (D)	15 (B)	16 (A)	17 (D)	18 (B)
	19 (C)	20 (D)				

- 「来週の水曜日までに彼は戻ってくるだろうから、木曜日には彼に会えるだろう」
 - ▶ by next Wednesday 「来週の水曜日までに」に注目して、**未来完了形**の(C)を解答する
- 「大雨によって影響を受ける唯一の人々は、川の近くに住む人たちである」
 - ▶ 空所に続くのが affected なので、助動詞などは使えない。(B)で**受動態**にするのが正解。
- 「部屋を出て行く前に、灯りを消すのを忘れないでください」
 - ▶ before はここでは前置詞なので、(C)の**動名詞**を解答する。
 - **turn off** ~ 「(テレビ・ラジオ・電灯など)を消す/(ガス・水道など)を止める」
 - ⇒ **turn on** ~ 「(テレビ・ラジオ・電灯など)をつける/(ガス・水道など)を出す」
 - She *turned off all the lights which had been left on.*
(彼女はつけっぱなしの明かりを全部消した。)
- **forget to do** 「～することを忘れる」〔未来〕
 - Don't *forget to mail* this letter on your way to school.
(学校へ行く途中、忘れずにこの手紙を投函しなさい。)
 - ▶ Don't forget to do = Remember to do の書き換えも重要。
 - ▶ **forget doing** 「～したことを見失す」〔過去〕
- 「スミス教授、長らくお待たせしてしまい申し訳ありません」
 - ▶ **keep+O+C** 「O を C にしておく」で、C には**分詞**を用いる。現在分詞か過去分詞かは O に一致させてるので(C)waiting が正解。

「SVO+分詞」の形をとる動詞—『持続状態』を表す動詞

- | |
|--|
| □ keep A doing / done 「A が～している[された]状態にしておく」 |
| □ leave A doing / done 「A が～している[された]ままにしておく」 <ul style="list-style-type: none"> ▶ keep… 「意図的に～の状態にしておく」
She <i>kept them talking.</i> (彼女は彼らに話を続けさせた) ▶ leave… 「～の状態のままに放置しておく」の意味。
Don't <i>leave the water running.</i> (水を流しっ放しにしないで) |
- 「高校で私が習った先生の中で、私のお気に入りだったのは英語の田中先生だ」
 - ▶ 「私が習った先生の中で、一番は田中先生」という文意なので、(C)が正解。
 - 「私は本当にチャー教授の講義が好きだ。常に彼が言うべきことに興味を持っている」
 - **be interested in** ~ 「～に興味がある」
 - I'm not very *interested in* sports.
(私はあまりスポーツに興味がない。)
 - ▶ 「～に興味を持つ」は **have[take] (an) interest in** ~。
I *have[take] an interest in* genetic engineering.
(私は遺伝子工学に興味を持っている。)
 - 「非常に好都合な条件だったので、我々はその計画を早期に仕上げることができた」
 - ▶ **conditions** を修飾するので**形容詞**の(A),(C)しか入らない。(A)は「お気に入りの、大好きな」、(C)は「好都合な、有利な」なので、(C)が正解。
 - **A is able[unable] to do** 「A(人)は～することができる[できない]」
 - **because of** ~ 「～のために/～が原因で」

『原因・理由』を表す群前置詞

「～のために/～が原因で」

because of ~

on account of ~

owing to ~

due to ~

▶ これら4つの『原因・理由』を表す群前置詞はほぼ同意で、入れかえて用い
うことができる。

▶ **due to** ~は群前置詞としての用法のほかに、**be due to** ~「～のため[せい]で
ある/～による」の形も必ず押さえること。

His big success was due to his patience and diligence.
(彼の大成功は忍耐と勤勉によるものである。)

8. 「運転試験の合格おめでとう、ミキ。よく頑張ったね」

Congratulations on ~! 「～でおめでとう」

Congratulations on your graduations!

(卒業おめでとう。)

Well done [played]! 「でかした！よくやった！」

9. 「悪天候のため、そのフライトはキャンセルされた」

due to ~「～のために/～が原因で」『原因・理由』

I was half an hour late due to the heavy traffic.

(車が多かったので、半時間遅れました。)

10. 「君が入学試験に合格したと聞いて、私は嬉しかったよ」

▶ gladは人を主語とし、「嬉しい」内容を **that** 節や不定詞で表す。(D)のみが英文
として正しい。

I am glad that her son passed the examination.

(彼女の息子が試験に合格して嬉しい。)

11. 「レイナ、君が足首の怪我で最近、授業に欠席せねばならなかったことは知っているが、
それが今学期の課題の提出を免除する理由にはならないよ」

excuse A from doing 「A が～することを免除する」

She excused herself from going to the party.

(彼女はパーティへの出席を辞退した。)

hand in ~「～を提出する」(= turn in / submit / give in)

Hand in your composition by today next week.

(作文を来週の今日までに提出しなさい。)

12. 「私はルイスに何回も電話をかけたが、彼は出なかった。私は、彼は元気なのかどうかと
思った」

answer the phone 「電話に応答する」

Dave isn't answering the phone. He must be out.

(デーブは電話に出ない。外出しているに違いない。)

▶ respond to ~で「～に応答する」の意味だが、respond to the phone とは言わない。

13. 「外出する際は、ドアの施錠を確認してください」

make sure that 節 「必ず～するように手配する/～を確かめる」

He made sure that the job would be properly done.

(彼はその仕事がきちんとされるように手配した。)

▶ make sure の後は that 節のほか、『of+名詞』が続く。

Search your pockets again to make sure of it.

(もう一度ポケットを探してそれを確かめなさい。)

14. 「よその国に住んで働くのは、どんなものだろうかと私はしばしば思った」

▶ 「～かと思う」で目的語が間接疑問文の場合は、wonder を使う。

I wonder why he gave a false name.

(彼はなぜ偽名を名乗ったのだろう。)

She wondered how the meeting was going.

(会議はどんなふうに進んでいるのかしらと彼女は思った。)

15. 「我々は世界の環境問題に対する解決策を見つけなければならない」

► 空所直後の **to** に着目する。(B)solutions ならば意味、語法とも適する。

(A)cause of ~「～の原因」、cause for ~「～の理由」

(B)solution [to, of, for] ~「[問題など]の解決策」

(C)result of ~「～の結果」

(D)benefit of ~「～の利益」、benefit **to** ~「～への恩恵」

16. 「ここはとても広い劇場です。3,200 席の収容能力があります」

► 「収容能力、定員」の意味になるのは、(A)capacity。(B)ability「能力」,(C)possibility「可能性」,(D)probability「見込み」。

17. 「ケンジは食べ物にほとんど関心がないので、彼の胃を満たせば何でも大丈夫である」

► 「おなかがいっぱいになれば何でもよい」という文脈なので、(D)anything を解答する。「間に合う、役に立つ」の自動詞 **do** にも注意。

□ **care about** ~「～を気づかう/～に関心がある」

cf. care for ~「～の世話をする」

□ **A will do.** 「A でかまわない/A で間に合う」

□ **as long as** ~

① 「～する限りは/～する間は」 (= while) 『時間の制限』

As long as I live, I will not let you do such a thing.

(私が生きている限りは、あなたにそんなことはさせない。)

② 「～しさえすれば/～ならば」 (=so long as / if only) 『条件』

Any hotel will do so long as it's not too expensive.

(料金が高すぎなければ、どんなホテルでも構いません。)

18. 「マイはまたピアノのレッスンに遅れた。いかにも彼女らしい」

□ **be typical of** ~「～に特有である/～の特徴を示している」

This excuse is typical of him.

(これはあいつらしい言い訳だ。)

19. 「彼は価格があまりにも低いと思ったので、その申し出を断った」

► **turn down** ~で「～を断る」という熟語。

(A)turn away from ~で「～から顔をそむける」,(B)turn back「引き返す」,(D)turn off ~「(水・ガスなど)を止める、(テレビ・明かりなど)を消す」

□ **turn down** ~「～を拒絶する」 (= refuse/reject)

Her request for a pay raise was turned down again.

(彼女の賃上げ要求は再び拒絶された。)

► **turn down** ~「(音量など)を小さくする」 (↔ turn up) も重要。

20. 「ヨーロッパの夏はひどく暑くなかった。あなたはアフリカの気候が北に移動しつつあると考えるだろう」

► 強調語である(D)excessively を選べば、「ヨーロッパの夏はひどく暑くなかった」となり、意味が通る。(A)は more hot となってしまうが、比較級は hotter でなければならない。(B)entirely は「まったく、すっかり」という意味の副詞だが、望ましい内容の語句を修飾することが多く、不向き。(C)は much が不要。